

米軍基地に働く労働者は今日まで、米軍の戦略変更やドル防衛政策によつて毎年のごとく大量人員整理が行なわれてきました。

特に最近では日本の自衛力増強と相俟つて、米軍兵力の削減、自衛隊の肩代り政策によつて、米軍基地の整理統合や、縮小廃止が全国的に検討され、本年四月以降に於ても関東地区空軍施設の横田集中化による大量解雇が東京地区だけでも一千名以上に及んでいます。来春以降も基地の整理統合が日米両国政府の政策として進行し、新たな人員整理が発令される情勢にあります。

敗戦後二十数年にわたり基地労働に従事し、平均五十才以上に達している労働者にとつて再就職は極めて困難であり、解雇後の家族を含めた生活確保は基地労働者にとつて深刻な問題となっています。

基地労働が最終段階を迎えている今日、雇用安定対策の確立を含めた施策の一層の拡充強化をはかるため、(1)、(2)項についてそれぞれ関係機関に要請下さるとともに(3)項の実現方ご努力下さるようお願いいたします。

記

(1) 国に対する要請事項

一、駐留軍労働者の雇用安定法を制定されたい。

一、再就職までの生活保障措置として休職手当制度を実施されたい。

一、駐留軍関係離職者等臨時措置法の期限を再延長し、特別給付金就職促進手当、雇用奨励金及び離職者団体に対する国庫補助金を大幅に増額されたい。

一、基地の整理統合計画を明らかにし、再就労についての万全の対策を確立されたい。

一、米軍基地を返還し、基地の平和転用による基地労働者の就労対策を確立されたい。

(2) 都に対する要請事項

一、基地の整理統合計画を明らかにし、再就労について万全の対策を確立されたい。

一、都内の基地を返還し、都民に解放すると共に基地労働者の就労対策を確立されたい。

一、都庁、公営企業、外郭団体等の職員の採用年令制限の緩和と優先採用の措置をされた
こと。

一、財団法人東京駐留軍離職者対策センターの補助金の大巾増額

一、再就労助成金の大巾増額

(3) 市・町・村に対する要請事項

一、基地の遊休施設を返還させ、平和転用による集団就労対策を確立されたい。

- 一、市、及び公営企業等の職員の採用年令制限の緩和と優先採用の措置をされたい。
- 一、財団法人東京駐留軍離職者対策センター拡充強化のため補助金の増額。
- 一、駐留軍離職者に対する見舞金制度の制定。
- 一、駐留軍離職者に対する減免をとること。

昭和四十七年十二月十八日

請願者 東京都昭島市東町一の十五の二三

全駐労東京地区本部

執行委員長 木内 憲一 ㊤

福生市議会議長

末次 性男 殿

閉会中の継続審査申出書

一件 名 陳情第七号 地域児童図書館設置に関する陳情書

二 付託年月日 昭和四十七年六月二十日（第二回福生市議会定例会）

本委員会において、右事件審査中でありましたが、今会期中に審査を終了することが困難なので閉会中もさらに継続して審査を要するものと決定したので、会議規則第七十条の規定により申し出ます。

昭和四十七年十二月十九日

総務委員会

委員長 田村 匡雄

福生市議会議長

末次 性男 殿

閉会中の継続審査申出書

一件 名

陳情第十二号 駐車場設置に関する陳情書

二 付託年月日

昭和四十七年十二月十三日（第四回福生市議会定例会）

本委員会において、右事件審査中でありましたが、今会期中に審査を終了することが困難なので閉会中もさらに継続して審査を要するものと決定したので、会議規則第七十条の規定により申し出ます。

昭和四十七年十二月十八日

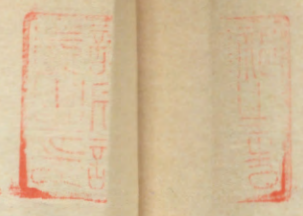
建設委員会

委員長

高 波

忠

福生市議会議長 末次性男 殿



閉会中の継続審査申出書

一件 名 陳情第十三号 商業振興施設設置に関する陳情書
二 付託年月日 昭和四十七年十二月十三日（第四回福生市議会定例会）

本委員会において、右事件審査中でありましたが、今会期中に審査を終了することが困難なので閉会中もさらに継続して審査を要するものと決定したので、会議規則第七十条の規定により申し出ます。

昭和四十七年十二月十八日

建設委員会

委員長 高 波 忠

福生市議会議長 末次性男 殿



特定事件継続調査事項表

(昭和四十七年十二月二十五日第四回定例会第二日目)

総務委員会

一、第六小学校々舎増築について

建設委員会

一、東部開発について

厚生委員会

- 一、公益質屋の運営について
- 二、国民健康保険の運営について
- 三、水道一元化について

[Faint, illegible text impressions, likely bleed-through from the reverse side of the page.]

